

令和5年度

「運営に関する計画・自己評価」



小中一貫校大池学園
大阪市立大池中学校

令和5年4月

大阪市立大池中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和 3 年度、生野区西部地域学校再編整備計画により、第 1 次再編として、校区の中川小学校と御幸森小学校が統廃合され、大池小学校が誕生した。そして令和 4 年度には第 2 次再編として、大池小学校に舍利寺小学校の一部の児童が加わり、大阪市初の連携型小中一貫教育を推進する『小中一貫校大池学園』として統合された。

組織編成から始まり、合同研修会や研究授業、授業参観などの教職員の交流、および児童生徒の交流など、大池小学校との連携を深め教育目標達成に努めている。また、ユネスコスクールの認定を目指し、教育内容の精選や取組の意義を整理し、実践しているところである。

学力・体力面において、前年度チャレンジテストの国語・数学では、標準化得点は 3 年生の国語が 2 ポイント減少したが、2 年生は国語が 5 ポイント、数学は 19 ポイント向上し取り組みの成果が見られた。校内調査における話し合い活動は、53.6 ポイントと全市目標 (50 ポイント) を上回っている。

また、学校評価アンケートでの「学校の授業の予習や復習をしている」の肯定的回答は生徒 45%・保護者 47%と向上しており、引き続き自習室の整備と、その活用の啓発に努め、自学自習を行う生徒の増加に取り組む。前年度は英検を受検することにより学習意欲の高まりがみられ今後も継続指導を行いつつ、小学校とも連携を行い課題を精査し、学力向上への取り組みを推進する。

全国体力調査での体力総合点では、男子は 38.3 (R3:33.00)、女子は 37.8 (R3: 41.60) と、前年度より男子の向上は見られるものの、これまでの体力面を考えると全体的に下回ってきている。体力・運動能力においては、部活動との関連も深く、生徒の基本的な生活習慣の安定化に大きく影響している。部活動参加生徒に対するプレイヤーズファーストについて教員の意識も高まり、今後の部活動の在り方や目的を円滑に考えながら体力・運動能力の維持・向上に努めていきたい。

安心して成長できる安全な学校の実現に向け、日常的にいじめの認知に努めることに重点を置き、いじめが確認されると、複数体制で丁寧に取り組み、解消が確認されるまで継続的に指導・見守りに努めている。また、家庭との連携により規範意識の醸成に継続して取り組んでいく。前年度は暴力行為の発生は見られず、ほぼすべての生徒が安心して学校生活を送れているが、不登校については、昨年度よりも在籍比率が増加 (8.0→8.4%) してきており個別指導を継続しつつ、前年度に一定の成果があったこともサポートネットによる外部機関との連携を今後も進めていく。

安心して通学できる学校を目指し、引き続き芸術鑑賞会の開催など豊かな心の醸成につながる取り組みを継続させつつ、教職員一丸となった取り組みを推進する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を95%にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思うか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における〔国語〕の問題において、「書く」の領域の正答率を令和4年度と比較して5ポイント向上させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における〔数学〕の問題において、「数と式」の領域の正答率を令和4年度と比較して5ポイント向上させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の予習をしていますか」「家で学校の復習をしていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合をそれぞれ55%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、65%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」の項目において「全くしない」と答える生徒の割合を、10%以下にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度までに、授業日において学習者端末を毎日使用した割合(学校行事等でICT活用に適しない日を除く)を100%にする。

【その他】

- 令和7年度までに、小中一貫校大池学園として、小学校と連携してユネスコスクール認定を目指す。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（中学校）

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 校内調査において、保護者向けアンケート「学校は、生命を大切にする心を育み、いじめや暴力を許さない学校づくりに取り組んでいる」の項目で肯定的に答える保護者の割合を85%以上にする。
- 校内調査において、生徒向けアンケート「自分には、良いところがありますか」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。
- 校内調査において、生徒向けアンケート「命の大切さや社会のルールについて学んでいる」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 人格形成の基礎を培うため、感性や創造力、自己を表現する力を育む情操教育を推進するため、文化・芸術週間で芸術鑑賞を実施し、直接文化・芸術に触れ、素晴らしさを体験させる。また、合唱コンクールを行い、音楽を通じて子どもたちの表現力や情操を豊かにする。
- 本年度開校の連携型小中一貫校として、円滑な接続を実現するために、生徒児童の交流を行い、系統的な実践を推進する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（中学校）

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を50%以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を53%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。

学校園の年度目標

- 自学自習の学習習慣の確立を図るため、校内の学習環境整備やすきま学習の啓発に努め、オールタイムで個々の状況に対応できる自習室の活用を推進する。
- 英語教育について、英検（実用英語技能検定）を実施し、個々の昇級目標を明確にすることでの動機づけを行い、英語力を起点に学習意欲を高め、学力全体の向上に取り組む。
- 連携型小中一貫校としてのカリキュラム作成を進めるとともに、ユネスコ会議の開催や教職員研修を踏まえ、ユネスコスクール認定に向けた学びの一貫性を目指す。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（中学校）

- 協働学習支援ツールを用いた学習を週2回実施する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（月45時間以下）を満たす教員の割合を75%以上にする。

学校園の年度目標

- 授業日において学習者端末を毎日使用した割合（学校行事等でICT活用に適しない日を除く）を95%にする。

【その他】

学校園の年度目標

- 小中一貫校大池学園として、ユネスコスクールの申請に向けて、多文化共生教育、平和教育、環境教育について小学校と連携し、教育課程の整備を進める。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立大池中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○昨年度に引き続き、生命を大切にする心を育み、いじめや暴力を許さない学校づくりに取り組む。</p> <p>○昨年度に引き続き、社会のルールを守る規範意識や基本的生活習慣が身につく、社会のルールについて学ぶ取り組みを推進する。</p> <p>○昨年度に引き続き、人格形成の基礎を培うため、感性や創造力、自己を表現する力を育む情操教育を推進するため、文化・芸術週間において、芸術鑑賞で直接に文化・芸術に触れ、素晴らしさを体験させる。</p> <p>○本年度開校の連携型小中一貫校として、円滑な接続を実現するために、小学校教員と交流を行い、より一層の連携を推進する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>『いじめを考える日』の全校集会において、いじめについての校長講話を行い、それをふまえて、各学年・各クラスでいじめについて考える取り組みを実施する。常に学校全体でいじめの未然防止・早期解決について取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>インターネット上でのいじめの防止について、SNSのかかわりやネット依存について保護者・生徒向けのSNS啓発講演会や学校・家庭と連携していじめについて考える機会を持つ。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>校内調査において、保護者向けアンケート「学校は、生命を大切にする心を育み、いじめや暴力を許さない学校づくりに取り組んでいる」の項目で肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>『人権教育年間計画』・『道徳年間学習計画』に則り、継続したと取り組みとすることで、互いに違いを認め合い、互いを尊重し支え合う集団作りに努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>校内調査において、保護者向けアンケート「学校は、社会のルールを守る規範意識や基本的生活習慣が身につくように指導している」の項目で肯定的に回答する保護者の割合を 90%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>連携型小中一貫校開校のため、小学校教員との交流を促進し、円滑な接続を実現するため安心して登校できる環境を作る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小中学校の子ども交流を年間 6 回実施し、9 年間を見通した教育実践を実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>芸術鑑賞を実施し、文化・芸術の直接の体験を通して芸術の素晴らしさを感じとることで生徒の情操を培う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>校内調査において、生徒向けアンケート「芸術鑑賞で、文化・芸術の素晴らしさを感じることができた。」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

年度目標	進捗状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</p> <p>（昨年 3 年生 （国語 0.88・ 数学 0.79））</p> <p>（昨年 2 年生 （国語 0.93・ 数学 0.98））</p> <p>○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 40%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 55%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○自学自習の習慣の確立を図るため、校内の学習環境整備やすきま学習の啓発に努め、オールタイムで個々の状況に対応できる自習室の活用を推進を行う。</p> <p>○英語教育について、英検（実用英語技能検定）を実施し、個々の昇級目標を明確にすることでの動機づけを行い、英語力を起点に学習意欲を高め、学力全体の向上に取り組む。</p> <p>○連携型小中一貫校として、カリキュラムを作成し、学びの一貫性を目指す。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑥【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業研究や校内研修において『1. ICT活用』・『2. アクティブラーニング』・『3. めあて・まとめの提示』と定め、全教員が研究授業を行い、授業改善に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>校内調査における生徒向けアンケート「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の項目で、肯定的に回答する生徒の割合を、84%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>連携型小中一貫校として、9 年間を見越した教育課程を検討し、学びの一貫性を目指す。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>単元配列表を小中学校それぞれ作成し、相互授業参観や研究授業に参加し、小学校で必要な箇所の出前授業を実施する。</p>	

<p>取組内容⑧【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>校内第 5 回実力テストに代わる共通到達度確認問題テストを実施し、個別の学力到達度を図り個別の課題を詳細に把握することにより学力全体の底上げを図る。</p>	
<p>指標</p> <p>中学 3 年生の自己実現に向けた意欲を高め、生徒向けアンケート「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的に答える生徒の割合 73%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑨【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>体力・運動能力が高まるよう体育の授業や泊を伴う校外行事等の学校行事を精選し、安全への配慮を踏まえた指導内容に工夫をし、体力合計点を向上させる。</p>	
<p>指標</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点において、男女とも一昨年度の平均値より減少したので、前年度合計点（男子 38.3 点、女子 37.8 点）より増加させる。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

年度目標	進捗状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <p>○協働学習支援ツールを用いた学習を週2回実施する。</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を75%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○授業日において学習者端末を毎日使用した割合（学校行事等でICT活用に適しない日を除く）を90%にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑩【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>自学自習の習慣の確立を図るため、校内の学習環境整備やすきま学習の啓発に努め、オールタイムで個々の状況に対応できる自習室の活用を推進を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>校内調査において、生徒向けアンケート「自習室で自分のペースで自学自習している」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を40%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑪【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>1人1台端末の環境を生かし、個別最適な学び協働的な学びの実現に向けた取組の実施を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>授業日において学習者端末を毎日使用した割合（学校行事等でICT活用に適しない日を除く）を90%にする。</p>	
<p>取組内容⑫【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校における働き方改革推進プラン」に基づく各取組の効果検証。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ゆとりの日を設定し、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を75%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	進捗 状況
【その他】 学校の年度目標 ○小中一貫校大池学園として、ユネスコスクールの申請に向けて、多文化共生教育、平和教育、環境教育について小学校と連携し、教育課程を整備する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容【基本的な方向2 豊かな心の育成】 小中一貫校大池学園として、ユネスコスクールの申請に向けて、多文化共生教育、平和教育、環境教育について小学校と連携し、教育課程を整備する。	
指標 毎月1回ユネスコ会議を開催し、申請に向けて、ユネスコ憲章を意識した教育内容を整備する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	